

技術検討会委員の意見

「道前平野地区」

本地区は、水田区画の多くが狭小であり、耕作道路は狭く、さらに地区内河川の中・下流周辺では、降雨時に慢性的な湛水が発生していることから、効率的な農作業を行うための妨げとなっている。これにより、担い手への農地集積が進まず、耕作放棄地が多く発生している。このため、本事業により、区画整理、暗渠排水、農業用排水、排水機場を一体的に整備し、耕作放棄地を含めた農地の土地利用を計画的に再編し、生産性、収益性の向上及び耕作放棄地の再生・発生防止による優良農地の確保を図るものである。

また、本地域は、水稻、はだか麦、大豆の栽培が盛んで、里芋等の高収益作物導入のさらなる推進が期待されている。

西条市の総農家数や耕地面積は減少傾向にあるものの、経営耕地面積の大きな農業経営体数は増加しており、認定農業者への農地集積により経営規模拡大が進みつつある。また、本事業により導入した遠隔操作型自動給水栓がスマート農業の推進に寄与している。

このような中、愛媛県、西条市、関係土地改良区は、耕作放棄地の再生・発生防止、農業の持続的発展を期待するとともに、より一層のコスト縮減や環境への配慮、計画的な事業推進を望んでいる。

これらに應えるため、引き続き関係機関と連携を図りながら、更なる事業コストの縮減、環境との調和に配慮しつつ、事業効果の早期発現に向けて、計画的に事業を推進する必要がある。